

① ^{ぶん}文を^よ読みながら「な・に・ぬ・ね・の」に○（まる）をつけましょう。

わんぴというよびかたでしたしまれている、おだえいいちろうさんによってえがかれているにほんのまんがのわんぴーすは、せんきゅうひゃくきゅうじゅうななねんから「しゅうかんしょうねんじゃんぷ」でれんさいがはじまりました。

ものがたりでは、かいぞくおうをゆめみているもんきー・でい・るふいと、そのなかまたちとともにそうだいなぼうけんがくりひろげられています。

おだえいいちろうさんは、おとうさんがえをえがくことをしゅみにしていたことにえいきょうされて、ちいさいころからえをえがきはじめ、よんさいのときに、まんがかというしごとをしたことで、まんがかになることをゆめみることになりました。

② それぞれの^{かな}仮名^{かず}の数^{かぞ}を数えて、^{すうじ}数字^かを書きましょう。

な	に	ぬ	ね	の
<input type="text"/>				

③ ^{なに}何^かについて書かれた^{ぶん}文^{おし}でしたか？教えてください。



..... 折り線

【子供向け】文章 - ひらがな版：仮名拾い（かなひろい）課題プリント その8 - な行編

答え ② な：6 に：8 ぬ：0 ね：2 の：5

③ ONE PIECEについて書かれた文。など